

2022年10月25日

各 位

住所	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号
会社名	GMO インターネットグループ株式会社
代表者	代表取締役グループ代表 会長兼社長執行役員・CEO 熊谷 正寿 (コード番号 9449 東証プライム)
問い合わせ先	取締役 グループ副社長執行役員・CFO グループ代表補佐 グループ管理部門統括 安田 昌史
TEL	03-5456-2555(代)
URL	<a href="https://www.gmo.jp">https://www.gmo.jp</a>

## 特別損失(GMO あおぞらネット銀行株式会社株式に対する契約損失引当金繰入額) の計上に関するお知らせ

当社は、2022年12月期第3四半期連結会計期間(2022年7月1日～9月30日)において、当社グループが今後取得することとなる GMO あおぞらネット銀行株式会社(以下、GMO あおぞらネット銀行)株式について、特別損失(契約損失引当金繰入額)63億円を計上する見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別損失の内容

当社グループは株式会社あおぞら銀行(以下、あおぞら銀行)との間で2016年6月に締結した資本業務提携に基づき、持分法適用関連会社である GMO あおぞらネット銀行を通じて2018年7月以来、インターネット銀行事業を展開しております。

当社グループとあおぞら銀行との間で締結した株主間契約書<sup>(注)</sup>に基づき、当社グループが GMO あおぞらネット銀行に係る主要株主認可を取得した日、またはインターネット銀行事業の正式開始日から5年が経過した日等のいずれか早く到来する日に、当社グループは、あおぞら銀行が保有する種類株式を取得することが可能となっています。また、当社グループが主要株主認可を取得した場合等において、当社グループは取得した種類株式について、普通株式へ転換することが可能となっています。普通株式へ転換した場合、GMO あおぞらネット銀行に対する当社グループの持株比率及び議決権比率は、いずれも50.0%となる見通しです。

GMO あおぞらネット銀行は、2021年発表の中長期経営計画で掲げた「スモール&スタートアップ向け銀行 No.1」「組込型金融 No.1」「テックファーストな銀行 No.1」の3つの戦略のもと、法人口座数・かんたん組込型金融サービス契約数など事業 KPI が拡大する一方、想定を下回る成長速度により、2023年3月期の黒字化を見据えた事業計画との乖離が生じております。

今般、GMO あおぞらネット銀行は、2022年3月期第2四半期決算、事業の進捗状況を鑑み、ベースビジネスを抜本的に強化したうえでさらなる収益力を向上させるべく新中期経営計画を策定するとともに、財務基盤をより強固なものとするため、株主割当増資を実施することとしています。

# GMO INTERNET GROUP

当社グループは、同計画の詳細な検討を行うとともに、GMO あおぞらネット銀行株式価値の算定を第三者算定機関に依頼しました。これらを踏まえて、当社グループとしては同計画に同意し、その遂行・達成のために必要な資本を確保するため、本件増資を引き受けることを決定しました。

一方、GMO あおぞらネット銀行の事業計画に対する進捗状況や今後の業績見通しを総合的に勘案した結果、新たな事業計画に基づき算定された株式価値と、将来において当社グループが株主間契約に基づき取得することとなる GMO あおぞらネット銀行の種類株式の買取価値との差額について、契約損失引当金繰入額として特別損失 63 億円を計上することといたします。

(注)当該契約書は、2016 年 6 月 24 日付であおぞら銀行と当社との間で締結しており、また、2016 年 7 月 21 日付で GMO フィナンシャルホールディングス株式会社を含めた 3 社間で「株主間契約の変更及び地位承継に関する契約書」を締結しております。この中で、当社グループはあおぞら銀行に対して GMO あおぞらネット銀行の種類株式の譲渡を請求することができる旨、及び、あおぞら銀行は当社グループに対して GMO あおぞらネット銀行の種類株式の買取を請求することができる旨が定められております。

## 2. 今後の見通し

本件につきましては、2022 年 11 月 14 日公表予定の「2022 年 12 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」に反映いたします。

以 上